

令和6年度 学校評価アンケートの結果及び次年度への取組

たむら支援学校

今年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。

今回の結果を受け課題となる項目については、担当部署を中心に学校全体で改善に向けて具体的な方策を検討し、次年度に活かしてまいります。

【評価基準】	【回答者数】		
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者	48人	教員 25人
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者	20人	教員 13人
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者	37人	教員 22人
D できていない、あてはまらない	《保護者 105人》 《教員60人》 《合計 165人》		

【質問1】 学校は、教育的ニーズに応じた学びの充実と、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びによる、学びの変革を実行していると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	46	54	2	1	2
評価割合	44%	51%	2%	1%	2%
教員	17	41	2	0	0
評価割合	28%	68%	4%	0%	0%

【結果及び今後の取組み】

- ・ 95%の保護者及び96%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の5%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、教育的ニーズに応じた学びの充実及び学びの変革が求められていると考えます。
- ・ 今後も、児童生徒一人一人の教育的ニーズや自立活動の中心的な課題を明確にした個別最適化された学び、他者と協働して課題を解決する協働的な学び、問題解決的な活動が発展的に繰り返される探究的な学びの充実を図るとともに、個別懇談や連絡帳を通して保護者との共通理解及び連携に努めてまいります。

【質問2】 学校は、保健体育、道徳教育、児童生徒指導、相談支援体制の充実を図り、豊かな心と健やかな体を育成していると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	61	38	3	1	2
評価割合	58%	36%	3%	1%	2%
教員	17	42	1	0	0
評価割合	28%	70%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 94%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の6%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、さらに豊かな心と健やかな体の育成が求められていると考えます。
- ・ 今後も児童生徒の実態に応じた保健体育、道徳教育、体験的な学習活動を計画的に行い、一人一人の児童生徒理解に努め、児童生徒指導と相談指導体制の充実を図ることで、豊かな心と健やかな体の育成に努めてまいります。

【質問3】 学校は、自立と社会参加を実現する進路指導・キャリア教育、進路先の開拓の充実を実行していると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	52	47	2	1	3
評価割合	49%	45%	2%	1%	3%
教員	16	44	0	0	0
評価割合	27%	73%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 94%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の6%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、卒業後の社会生活に必要な地域資源の情報の共有が求められていると考えます。
- ・ 今後も、児童生徒の実態や年齢に応じた基本的な生活習慣や働く力などを育成するための指導の充実を図るとともに、日々の学習活動の様子や進路情報をお伝えし、家庭や地域との連携を図りながら自立と社会参加を実現する指導の充実を努めてまいります。

【質問4】 学校は、地域の人的・物的資源の有効活用と交流及び共同学習の充実による、地域の中で活躍できる基盤づくりを進めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	42	56	4	2	1
評価割合	40%	53%	4%	2%	1%
教員	18	41	2	0	0
評価割合	30%	66%	4%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 93%の保護者及び96%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の7%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、地域資源の有効活用及び居住地校交流の計画的・継続的な推進が求められていると考えます。

- 今後も、地域の人的・物的資源を有効に活用し、児童生徒の実態に応じた体験的な学習活動の充実を図るとともに、交流及び共同学習（居住地交流を含む）の計画的・継続的な推進に努め、ホームページやお便り等を通じて活動の様子や地域資源に関する情報発信に努めてまいります。

【質問5】 学校は、特別支援教育のセンター的機能を果たすことができる地域支援の充実と情報発信を実行していると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	44	54	3	2	2
評価割合	42%	51%	3%	2%	2%
教員	30	30	0	0	0
評価割合	50%	50%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- 93%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の7%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、今年度も地域支援に関する情報をホームページなどで発信してきましたが、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- 今年度も地域支援センターを中心に校内外の児童生徒の支援会議、幼保・こども園や小・中・高等学校等への相談支援及び研修支援を行ってまいりました。今後も、個別懇談や教育相談を通して支援の手だてや支援体制について共通理解を図りながら児童生徒一人一人の支援の充実を図るとともに、地域支援の充実にも努め、ホームページや通信等を通じて情報を発信してまいります。

【質問6】 学校は、教職員の専門性を向上するための研究と修養を実行していると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	51	44	3	3	4
評価割合	48%	42%	3%	3%	4%
教員	20	39	1	0	0
評価割合	33%	65%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- 90%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の10%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、今年度も研修についてホームページなどで発信してきましたが、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- 今後も、研修等を通してより一層の専門性の向上に努めるとともに、研修や実践の様子をホームページや通信、懇談等の様々な機会を通してお伝えしてまいります。

【質問7】 学校は、不祥事を根絶する風通しのよさと当事者意識を常にもち、働き方改革を進める職員集団をつくっていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	42	52	4	2	5
評価割合	40%	49%	4%	2%	5%
教員	24	31	4	1	0
評価割合	40%	51%	7%	2%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 89%の保護者及び91%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の11%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、不祥事根絶と働き方改革を進めるための取組について、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- ・ 今後も、不祥事根絶や働き方改革の具体的な取組を計画的・継続的に進めるとともに、県が示す働き方改革の理念や本校の具体的な取組について情報を発信してまいります。

【質問8】 学校は、令和7年度に開校する、あだち支援学校の設置準備を進めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	43	45	6	3	8
評価割合	41%	43%	6%	3%	7%
教員	41	19	0	0	0
評価割合	68%	32%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 84%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の16%が「C」「D」「分からない」のいずれかで評価しており、今年度、設置準備を計画的に進め発信してきましたが、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- ・ 今後も、関係機関との情報共有及び情報発信を適切に行いながら、計画的に準備を進めるとともに、ホームページなどで開示できる情報を適宜発信してまいります。